

オーケストラ・アンサンブル金沢 & 京響市交響楽団 合同公演 ～和洋の響～

「能舞とオーケストラ」作品（新曲）募集

藩政期から続く伝統文化とクラシック音楽が出逢い、響き合う石川県立音楽堂では、その開館以来オーケストラ・アンサンブル金沢によって多くの「和」と「洋」のコラボレーション作品が上演され、石川・金沢の文化に厚みを加えてきました。

（公財）石川県音楽文化振興事業団では、その取組を発展させ、来る2021年2月14日に京都市交響楽団と協力した《和洋の響》公演を開催します。古都京都・金沢に育まれた両オーケストラが、互いを刺激し、高め合い、創造の舞台に新たな息吹を与えてくれることを期待して止みません。

本公演の開催にあたり、（公財）石川県音楽文化振興事業団では、若手作曲家の方々を対象とし、下記の通り演奏作品を募集いたします。採用された作品は、オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏により、広く国内外に発信されます。新たな文化が生まれる瞬間に相応しい、皆様の作品のご応募をお待ちしております。

- 採用点数 1点
- 参加資格 40歳以下（公演日当日の年齢）で、作曲を学んでいる方
- 応募方法 所定の申込書に必要事項を記入し、提出物とともに下記へ送付すること（申込書は当団ウェブサイト（<http://www.oek.jp/news/wayo2020>）よりダウンロードできます）
- 受付期間 2020年9月1日（土）～9月30日（水）必着
- 作品内容
 - ・能舞と合わせることが可能な、邦楽器を取り入れたオーケストラ作品（形式自由）
 - ・未発表の作品であること
 - ・誰もが親しむことができ、繰り返しの再演が期待される作品であること。
 - ・邦楽器は、三味線、尺八、琵琶、胡弓、箏（十三絃）から選択すること
- 演奏時間 7分程度とする

オーケストラ・アンサンブル金沢

- 編成 オーケストラ・アンサンブル金沢が演奏可能な編成とする
 (最大編成：弦楽器 8 型、管楽器 2222-2200、ティンパニ 1、打楽器 1)
- 提出物 所定の申込書、スコア (印刷されたもの 2 部)、デモ音源 (CD)
- 審査委員 **審査委員長**：池辺晋一郎 (作曲家、石川県立音楽堂洋楽監督)
審査委員 ：広上淳一 (公演総合プロデューサー、初演指揮)
- 採用通知 2020 年 10 月 20 日 (火) までに、E メールまたは電話にて応募者へ通知したうえで、
採用作品については各種メディア、ウェブサイト等にて公表します。
- 作品発表 2021 年 2 月 14 日 (日) 15:00 開演 石川県立音楽堂コンサートホール
指揮 ：広上淳一
能舞 ：金剛龍謹 (金剛流能楽師)
管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢
- 採用謝礼 10 万円
- その他 2021 年 2 月 11 日 (木) のリハーサル、2 月 14 日 (日) の本番に立ち会うこと
 (国内交通費、宿泊費は財団が負担します)。
- 主催・問合せ・申込先

公益財団法人石川県音楽文化振興事業団
「和洋の響」新曲募集係

〒920-0856 石川県金沢市昭和町 20-1

TEL 076-232-0171

E-MAIL office@oek.jp

URL <http://www.oek.jp/news/wayo2020>

オーケストラ・アンサンブル金沢

〒920-0856 石川県金沢市昭和町 20-1 石川県立音楽堂内
Tel.+81-(0)76-232-0171 Fax.+81-(0)76-232-0172